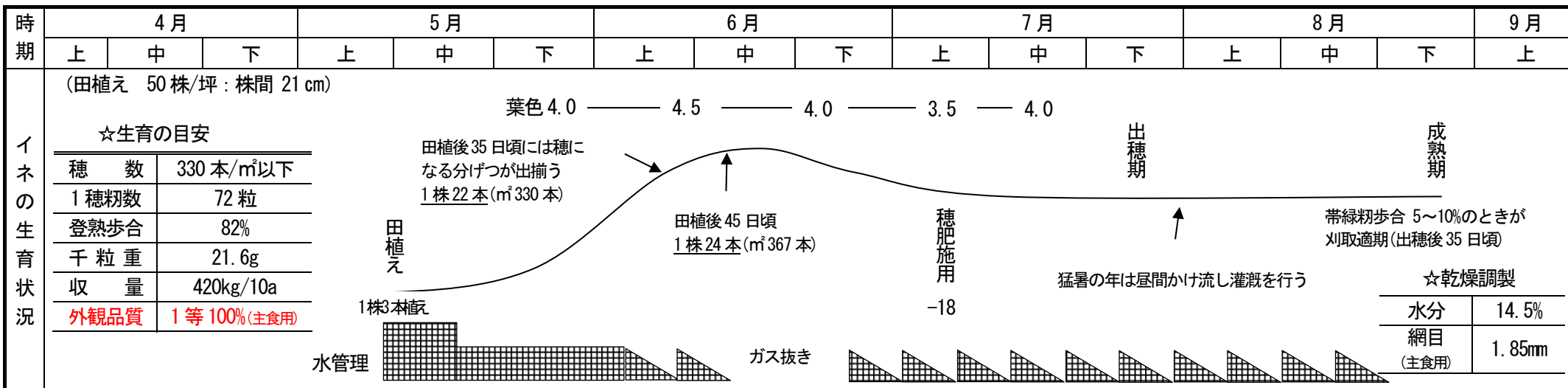


普段、毎日食べる米だからこそ安全・安心を！！

## 平成 23 年産 特別栽培米「やら米か」栽培暦

浜松地域特別栽培米研究会



**育苗**

- ◇種子更新  
混種、変異、種子伝染性病害を避けるため、**毎年種子更新を行う。**
- ◇塩水選  
比重 1.10(水 10<sup>斗</sup>に食塩 1.55kg)
- ◇温湯消毒  
乾籾を 60℃の温湯で 10 分間浸漬したのち、直ちに水で冷やす。
- ◇健苗育成  
育苗箱 1 箱あたり催芽籾 150g(乾籾換算 120g)の薄まきとする。

**施肥**

- ◇堆肥等施用技術  
完熟堆肥又は稲藁等の粗大有機物を施用する。  
完熟堆肥 1,000~1,500kg/10a  
稲藁 500kg/10a
- ◇化学肥料低減技術  
局所施肥技術、肥効調節型肥料施用技術等を組み合わせ、**化学肥料の施用量を県慣行の 5 割以下に削減する。**

[施肥例] (コシヒカリ)

区分	堆肥型	分施肥型	一発型
育苗培土	3kg (NO. 04%) × 16 箱 = 0.02Nkg/10a		
元肥	—	有機アグレット 666 60kg/10a	有機一発 265
穂肥	バイノ有機 18kg/10a	有機アグレット 727 30kg/10a	49kg/10a (有機 64%)
全 N 量	6.0Nkg	5.7Nkg	6.0Nkg
化学肥料由来 N 量	0.02Nkg	0.02Nkg	2.2Nkg

**水管理**

- ◇水田からの濁水の流出防止  
**用排水が分離された排水良好な水田とし、環境負荷の軽減のため、代かきの濁水をほ場外へ流出させない。**

**病害虫防除** ◇ 化学農薬低減技術

生物農薬利用技術、温湯消毒利用技術等を利用し、農薬の使用成分数を県慣行の 5 割以下に削減する。農薬は原則普通物 A 類とする (人にも環境にも優しく)。

区分	使用推奨農薬	代替農薬例 (成分数)	
病害虫	種子消毒	温湯・エコホブ	
	箱施用	ビームアトマイザー (2)	アプロライフ リンス (2), テラウズ リンス (2), フイケットアトマイザー スピノ (2)
	殺菌剤	ブラジ (2)	アミスター-EIT (1), ビームゾル (1), モカット (1)
	殺虫剤	スタークル (1)	キラップ (1), スクミン (1)
雑草防除	Mr ホームラン (3), ワイドアタック SC (1)	ダブルスター (2), ドニチ S (3), ロングキック (3), イネンゲ (3), トップガン GT (4) クリンチャーバス (2)	

◇ 特別栽培農産物表示ガイドラインに係る静岡県内の慣行レベル

品種 作型等	農薬成分使用回数			肥料使用量 (Nkg/10a)		
	県慣行	エコ基準	特裁米	県慣行	エコ目安	特裁米 <sup>注1</sup>
一般品種	17	13	8	9.0	7.2	4.5
コシヒカリ	15	12	7	7.5	6.0	3.7

注1 化学肥料由来の窒素成分のみを対象としている